



世界どこでも 運動会は みんなの期待大!



香港日本人学校大埔校 小林 幸司



ここは香港日本人学校大埔校の大屋上。この大屋上は敷地の狭い大埔校の児童にとっての貴重な遊び場の一つ。休み時間には夏の暑さに負けない子どもたちの元気な遊び声が響き渡ります。

ここから東に目を向けると、海にきらめく波。北には八仙嶺の美しい山並みと大埔の町並み。南には隣の現地校の校舎と、その向こう遠くに馬鞍山の山並み。西はというと…、山の斜面の木々の緑のみ。大都市香港とは言え、大埔の丘は緑豊かで、時に猿や猪まで出る環境。ここに現

在約400名の児童が日本の学校と同じように、日々勉強に遊びに励んでいます。

さて、来る10月は大埔校でも運動会の季節。香港では紅葉もなく、秋を感じる機会はあまりありません。でも、空気は明らかに夏と違い、涼しくなるのが10月半ば。待ちに待った運動会が開かれます。

校庭は50mもとれない大埔校。代わりに大学の運動場が本番会場です。そこはまるで陸上競技場。でも、その場で練習するのは本番3日前の1日のみ。しかも各学年で使える時間は約1時間だけ。運動会特別時間割は2週間。それまでは通常の校庭・体育館と狭く限られた環境を使います。赴任当時に感じた「毎年どうしているの?」という疑問は子どもたちが解決してくれました。最初に受け持った3年生は、ダンスの振り付けを3日でほぼ完了。残りの日々は隊形移動と細かな動き、学年の競技種目の練習に費やしました。本番会場練習がたとえ1日でも、それは子どもにとって大きな問題ではなく、本番に向けて日々、素直に、一生懸命、練習に取り組む児童の姿がそこにありました。



そんな運動会練習を支える鍵は2つ。1つは保護者の励まし

です。子どもたちは家でも動画を見たり、友達と一緒に踊ったり、意欲的です。その高い意欲に親も協力してくれるのです。それはつまり保護者の期待も大きいということ。学校側としては気が抜けません。もう1つはアイデア豊かな先生たちとの協力体制です。全国津々浦々から先生が集まり、経験も考えも異なりますが、それゆえに色々なアイデアが出ます。その良さを生かし、運動会成功のために話し合い、支え合って指導に当たります。この2つがあって、児童は思う存分に運動会練習に集中ができるのです。

です。子どもたちは家でも動画を見たり、友達と一緒に踊ったり、意欲的です。その高い意欲に親も協力してくれるのです。それはつまり保護者の期待も大きいということ。学校側としては気が抜け



ません。もう1つはアイデア豊かな先生たちとの協力体制です。全国津々浦々から先生が集まり、経験も考えも異なりますが、それゆえに色々なアイデアが出ます。その良さを生かし、運動会成功のために話し合い、支え合って指導に当たります。この2つがあって、児童は思う存分に運動会練習に集中ができるのです。

この原稿が出る頃は、運動会練習も佳境に入っている頃。週末には香港の空に、練習の成果を発揮する児童の元気な声、紅白の応援の声が響き渡り、観客席も大いに盛り上がることでしょ。